



十六銀行

十六アジアレポート 2020年4月号

JUROKU ASIA REPORT APRIL 2020

2020年4月1日 発行

十六銀行 法人営業部 海外サポート室

目次

1. 上海:「落ち込んだ消費と多様化する『巣ごもり消費』」 上海駐在員事務所 村瀬範晃
2. シンガポール:「続・新型コロナウイルスの現況」 シンガポール駐在員事務所 富田邦裕
3. ベトナム:「コロナ対策で存在感示す、ベトナム共産党」 ハノイ駐在員事務所 川瀬寛之
4. タイ:「タイのお正月『ソクラーン』が延期に」
バンコク駐在員事務所 チュティントン・アヌクール(ウム)
5. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. 上海:「落ち込んだ消費と多様化する『巣ごもり消費』」

上海駐在員事務所 村瀬範晃

1月から拡大した新型コロナウイルスの影響により2020年1~2月の中国経済は大きな打撃を受けました。また一方で、政府の指示により多くの市民が外出制限を強いられ自宅に引きこもったことで新たな消費も生まれました。今回は新型コロナウイルス感染拡大による中国の消費への影響についてご紹介したいと思います。

■主要3統計が初のマイナスに

中国国家统计局が発表した2020年1~2月の主要3統計（小売売上高、鉱工業生産、固定資産投資）は、消費の動向を示す小売業の売上高が前年同期比▲20%以上となるなど、いずれも統計が確認できる1990年代以降で初の前年実績割れとなりました。中国では2020年1月23日から春節連休が始まって以降中国全土で感染拡大が深刻化し、2月に入っても企業や工場、飲食店等の休業や営業縮小が続きました。感染拡大を抑え込むべく人の移動を制限したり企業活動を停止したりする措置が長期にわたって採られた結果、中国経済に大きなダメージを与えた実態がデータによっても裏付けられています。

■消費を下支えしたネット通販

中国の消費が極めて低調なのは社会消費品小売総額の数字からも明らかで、分野別にみると営業が大きく制限されたレストランは▲43.1%、自動車は▲37.0%、家電販売が▲30.0%など、厳しい状況が伺えます。しかし、消費が大きく落ち込む中であって、オンライン小売り額は▲3.0%と小幅な減少にとどまり、とりわけオンラインでの「モノ消費」に限れば+3.0%と拡大しており、外出が制約された国民の生活物資などをインターネット通販が支えていた構図が読み取れます。



【感染防止のため配達員はマンション敷地内に入れないため、全て敷地の入口に臨時で置かれている大量の配達物】

■多様化する「巣ごもり消費」

かつてアリババや京東集団などの電子商取引大手が飛躍したのも、SARS流行によって自宅に籠った人々がネットで買い物をした「巣ごもり消費」がきっかけでした。今回の新型コロナショックにおいても同様の現象が起これ、食品・飲料類の売上は前年同期比+154%となる等、対面販売の業種が軒並み落ち込む中、大きく売上を伸ばしました。加えて今回の外出規制は1ヶ月近くにも及んだため「巣ごもり消費」も多様化し、室内運動器具である縄跳びやヨガマット、テレビゲームや清掃用品、また在宅勤務を奨励された影響により新しい家具や小型家電等も大きく売上を伸ばしました。

■所見

新型コロナウイルスがもたらした「巣ごもり消費」は、中国のネット消費をいっそう成長させるかもしれません。しかし2020年1~2月の数字を見る限りでは、2020年上半期の経済成長率は非常に厳しいものになると思われます。春節以降、抑圧されてきた中国人の購買意欲が今後どうなっていくのか、今後の中国の消費マーケットを注視するポイントになりそうです。

2. シンガポール:「続・新型コロナウイルスの現況」

シンガポール駐在員事務所 富田邦裕

新型コロナウイルスの感染者数が3月25日時点で600人を超えたシンガポール。1日当たりの増加数は毎日拡大しています。ただ最近確認された症例の約8割は外国から持ち込まれており、ほとんどは海外在住していたシンガポール人の帰国者で、20代が最多とのこと。今回も現況をレポート致します。

政府は先月23日深夜から、短期滞在目的の入国及びトランジットを禁止したほか、長期就労ビザがあっても運輸、医療等の関係者を除く全ての外国人（永住権取得者は対象外）の入国を原則禁じました。海外からの感染者の入国が増えていることに対応するものであり、施行後のチャンギ空港は閑散としていました（写真①）。

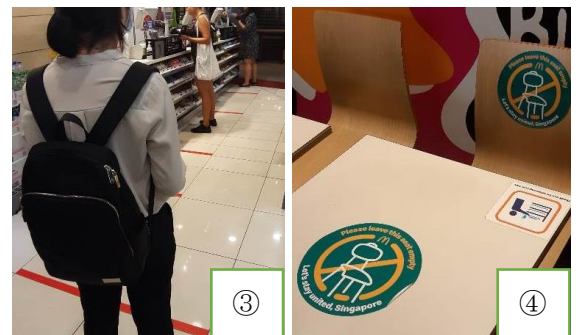


政府は国民に対して不要不急の海外渡航を自粛するよう既に呼びかけていますが、報道では1日約1,000人が出国しているそうです。東南アジア各国では突然の鎖国や封鎖といった動きがみられますが、シンガポールは当面、完全な国交封鎖の予定は無いようです。無視して出国した人が、帰国後14日以内に発症して入院した場合、政府は治療費を助成せず全額自己負担としています。

一方、隣国マレーシアでは早期に国民の出国と外国人の入国を全面的に禁止する国境封鎖を開始しました。陸路でシンガポールに通勤する人は1日当たり約30万人おり、発表直後のシンガポール側の国境付近では急いで帰るマレーシア人であふれていました（写真②）。今回の措置を受け越境通勤するマレーシア人を雇用する企業は、事業継続のためにシンガポールでの宿泊施設を確保する等、従業員の滞在先を確保する動きが広がりました。多くの日系企業も事業活動に支障が出ていますが、マレーシア政府は一転して越境通勤者への配慮から、禁止措置を一部緩和する検討に入っているとの報道がされました。



シンガポール政府は感染予防策を強化しており、飲食店や小売店、娯楽施設に対して席や顧客同士の間隔を1メートル以上保つよう求めています（写真③、④）。国民に対しても感染者に接触した人を追跡するスマホ向けアプリ「トレストゥギャザー」の提供を開始し、一定時間感染者の近くにいた人を検出できるそうです。また感染防止策に対する違反時の罰則（罰金、禁固刑、労働ビザ剥奪、企業側の労働ビザ申請の権利停止処分）も強化しており、いかにもシンガポールらしいといえます。政府は措置を今後も厳格に運用していけばロックダウンのような極端な手段をとる必要はないと説明しています。引き続き早期終息を願うばかりです。



3. ベトナム:「コロナ対策で存在感示す、ベトナム共産党」

ハノイ駐在員事務所 川瀬寛之

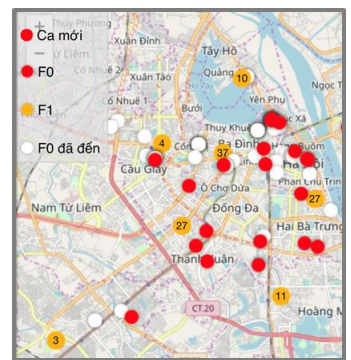
ベトナム共産党は、新型コロナウイルスの感染対策において圧倒的な存在感を示しています。外国人に対する入国停止・ビザ発給停止などの水際措置はさることながら、国内施策においても国家権力の大きさを実感させられる場面が多々あります。中国やシンガポールも同じかと思いますが、一党独裁による管理体制を敷いている国家ならではの強制力やスピード感があります。

社会主義国家においては、言論弾圧などの国家の強制力が働きます。これまで「感染者多数の地域は直ぐに封鎖」「感染の疑いがある人は直ぐに隔離」「そして消毒」といった事例を何度も耳にしてきました。実際、私が住むアパートにも突然防護服を着た人たちが来て、濃厚接触者が病院に連れて行かれました。ある西洋人が検査を拒否した結果、アパートごと封鎖されてしまった事例もあります。昼夜を問わず深夜でも公安が自宅に押し寄せ、プライバシーは無いに等しい状態です。



◆ハノイ市内：街の消毒風景

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止目的のアプリもリリースされています。保健省が開発した「健康申告アプリ (NCOVI)」では、感染者の居住エリア等に関する最新情報を提供する代わりに、アプリ内での健康申告を推奨しています。ハノイ市が開発した「感染者 (F0) や感染予備軍 (F1・F2) の情報アプリ (HaNoiSmartCity)」では、危険エリアの詳細を確認できる一方で、万が一にも F0~F2 に該当した瞬間に監視対象者となり、指定場所から 30m 離れると当局関係者等にアラートメッセージが届く仕組みとなっています。日本人にとっては正直ダウンロードを躊躇したくなるアプリですが、監視強化の意味では優れモノだと思います。



◆携帯アプリ：HaNoi SmartCity

ハノイの街の様子も大きく変化しました。ベトナム政府は、バー・カフェ店等を3月中旬から強制休業させ、他のサービス業に対しても一時休業するよう呼び掛けています。加えてウイルス感染を脅威に感じ外出を自主的に控える人や、田舎に避難する人が急増しています。これにより売上不振や人手不足で休業する店、家賃が払えず閉鎖に追い込まれる店が続出し、ハノイの街から活気が消えてしまいました。医療環境が整っていない発展途上国ならではの光景だと思います。



◆ハノイ市内：休業店舗が増加

このように、経済や国民のプライバシーよりも防疫に重きを置くベトナム政府の対策にやりすぎ感を抱く日本人は多いと思いますが、結果として人口がそれほど変わらない日本の10分の1程度の感染者数に留まっています。気候や平均年齢の差を加味しても、多くの外国人が住む国内で「人-人感染が少ない」ことは評価に値します。そして何より政府の指示に従い危機を乗り越えようとする国民の姿勢に、ベトナム共産党への信頼感の大きさが伺えます。普段は一長一短ある一党独裁制ですが、窮地の局面においては強制力とスピード感がプラスに働いているように感じます。私としては、ベトナムが一日でも早くダイナミズムを取り戻し経済が回復するよう願うとともに、ベトナム駐在のお取引先企業さまと共に、この危機を乗り越えていきたいと思っています。

4. タイ:「タイのお正月『ソクラーン』が延期に」

バンコク駐在員事務所 チュティントン・アヌクル(ウム)

タイでは、ソクラーンは一年で一番長いお休みになります。タイでは4月13日から15日の3日間が祝日とされていて、この時期に合わせて一週間ほどのお正月休みをとる人が多いです。多くの人々が故郷に戻って、家族みんなで揃って過ごします。近くのお寺に行って新年のお祈りをしたり、お家に祀ってある仏様を綺麗にお掃除して、新年のお祈りをしたりします。そして、デパートやレストランへ出掛けて、家族で食事をします。

■残念ながら、今年のソクラーンは延期になりました。

でも、みなさんはソクラーンといえば「水掛け祭り」という印象が強いのではないかと思います。私が住んでいるノンタブリーの街でも、ソクラーンの時期には外へ出て水を掛け合います。バンコクやパタヤ、プーケット、チェンマイなどの水掛け祭りは世界的にも有名です。観光客や地元の人々が外へ出て水鉄砲などを使って水を掛け合うのが恒例になっています。

私も小さい時は母の故郷のチャイヤプーン（コラートの隣の県）のおばあさんのお家へ行って、そこからバケツを持ってピックアップトラックに乗ってお祭りの会場へ出て、水を掛け合って楽しく遊びました。でも、今は大人になったので、濡れるのは避けたいですし、暑い時間帯に外に出たくないという気持ちになりました。

ところが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないことから、3月6日にパタヤのソクラーンイベントが中止となることが発表されました。これを皮切りに、プーケットやバンコク、チェンマイでも同様にイベントが中止となることが決定しました。更にタイ政府は、3月17日にソクラーンの祝日（4月13日～15日）を7月以降に延期すると発表しました。これは1940年にタイ王国の暦がタイ旧暦からグレゴリオ暦に変更され、4月にソクラーンの祝日を設けることが決まってから初めてのことで、非常に驚いています。私たちは今、80年に一度、世紀に一度の国難に直面しているのかもしれません。

■新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、タイは大変な状況に。

私は3月の初めからこのレポートを書き始めましたが、この1ヶ月の間に、タイ・バンコクでは本当に多くのことが起こりました。3月18日に全国の学校・大学と、バンコク首都圏の映画館や娯楽施設などの一斉閉鎖が命じられました。更に22日には、バンコク首都圏の商業施設やレストランの営業停止が命じられました。これらに加えて、22日以降はタイへの入国の際に、新型コロナウイルス検査の結果（陰性であることを証明する英文の診断書）の提出が義務付けられ、海外からタイへの入国が実質的に不可能な状況となりました。そして、24日には非常事態宣言が発令され、26日以降はバンコク首都圏での活動に制約が生じる事態に陥ってしまいました。

新型コロナウイルスの感染拡大で、ソクラーンの明るく華やかな雰囲気がかき消されてしまっただけでなく、私たちの日常生活も大きく制限されることになってしまいました。今はただ、感染拡大が早く収束に向かうことを祈るばかりです。



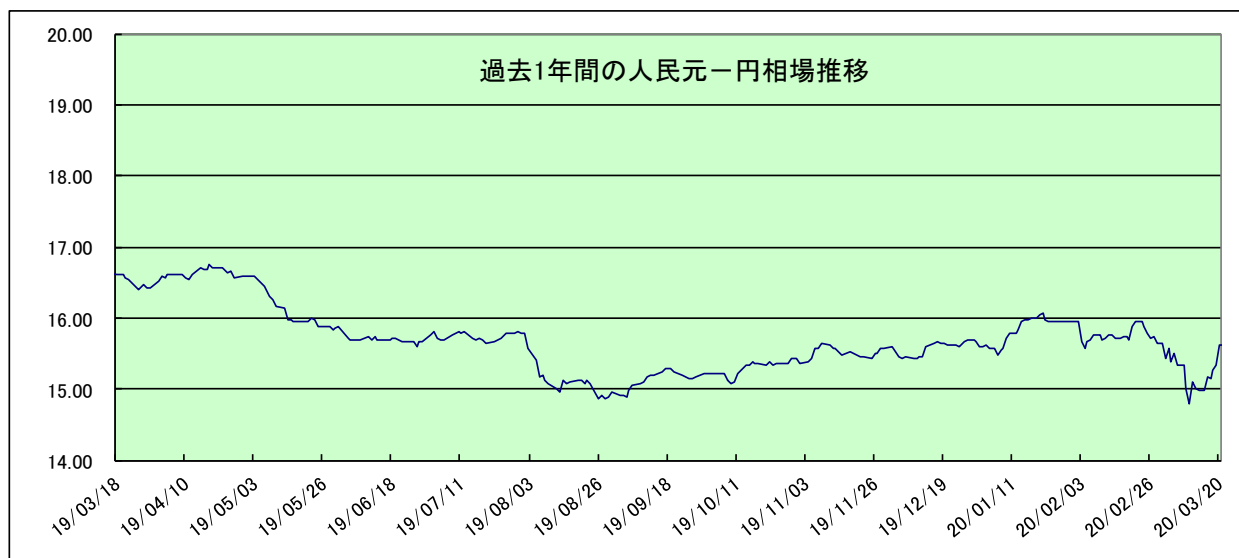
例年の「水掛け祭り」の様子。
残念ながら、今年は延期になりました。

5. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位:1人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
2月24日	15.87881	2月25日	15.77586	2月26日	15.72327	2月27日	15.72624	2月28日	15.64480
3月2日	15.42401	3月3日	15.57487	3月4日	15.38675	3月5日	15.50676	3月6日	15.33060
3月9日	15.01051	3月10日	14.78568	3月11日	15.10209	3月12日	15.00758	3月13日	14.97006
3月16日	15.15886	3月17日	15.14326	3月18日	15.26112	3月19日	15.34142	3月20日	15.61353

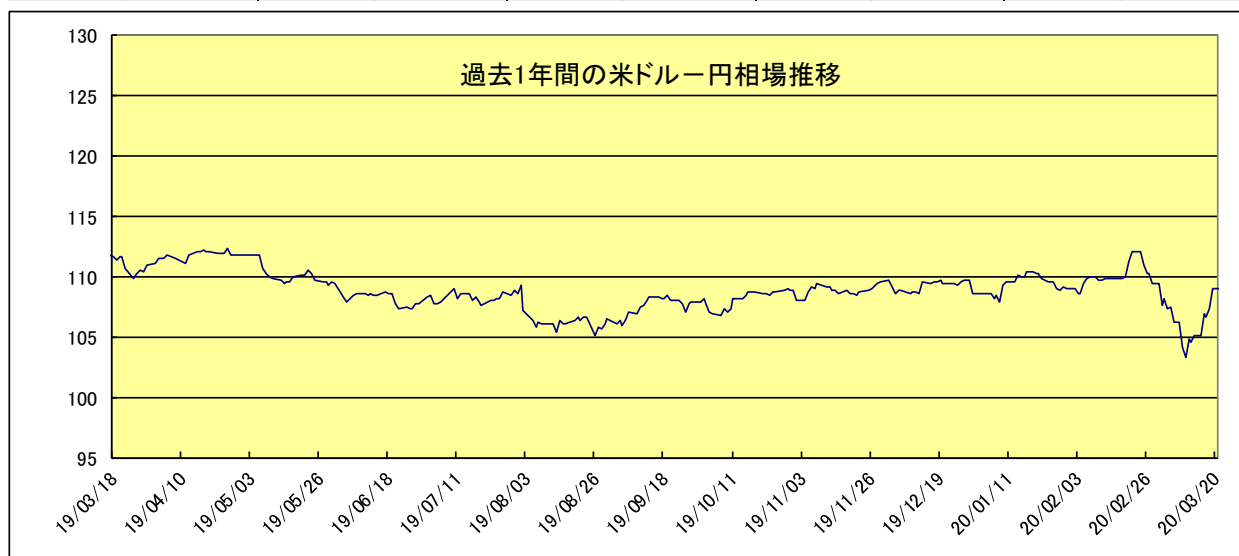


上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。
そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

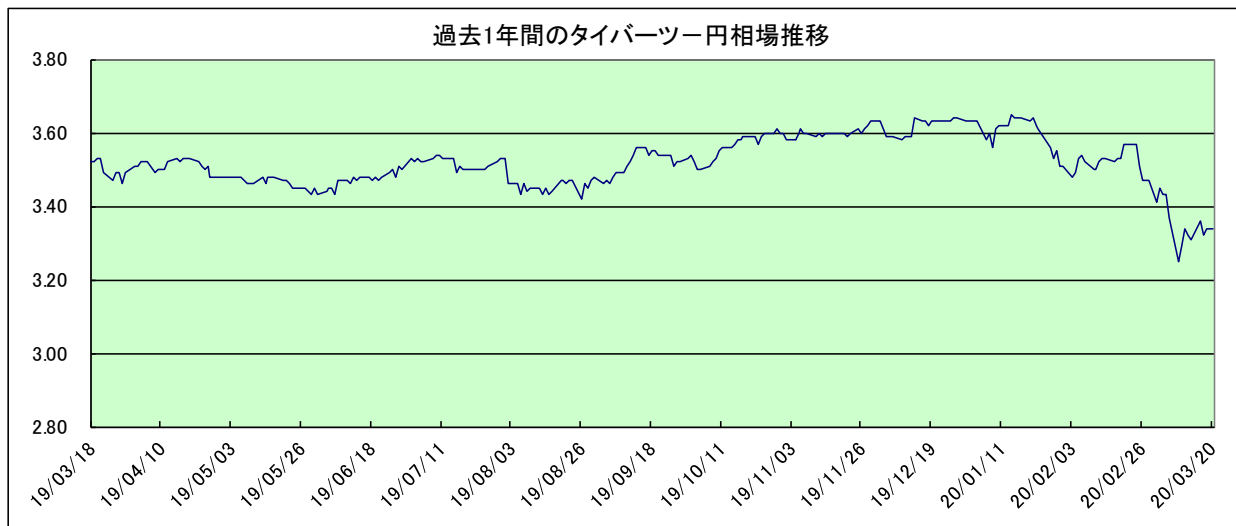
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
2月24日	112.11	2月25日	110.91	2月26日	110.31	2月27日	110.32	2月28日	109.43
3月2日	107.66	3月3日	108.24	3月4日	107.36	3月5日	107.53	3月6日	106.25
3月9日	104.19	3月10日	103.28	3月11日	104.88	3月12日	104.60	3月13日	105.17
3月16日	106.91	3月17日	106.60	3月18日	107.39	3月19日	108.98	3月20日	-



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1バーツ当たりの日本円)

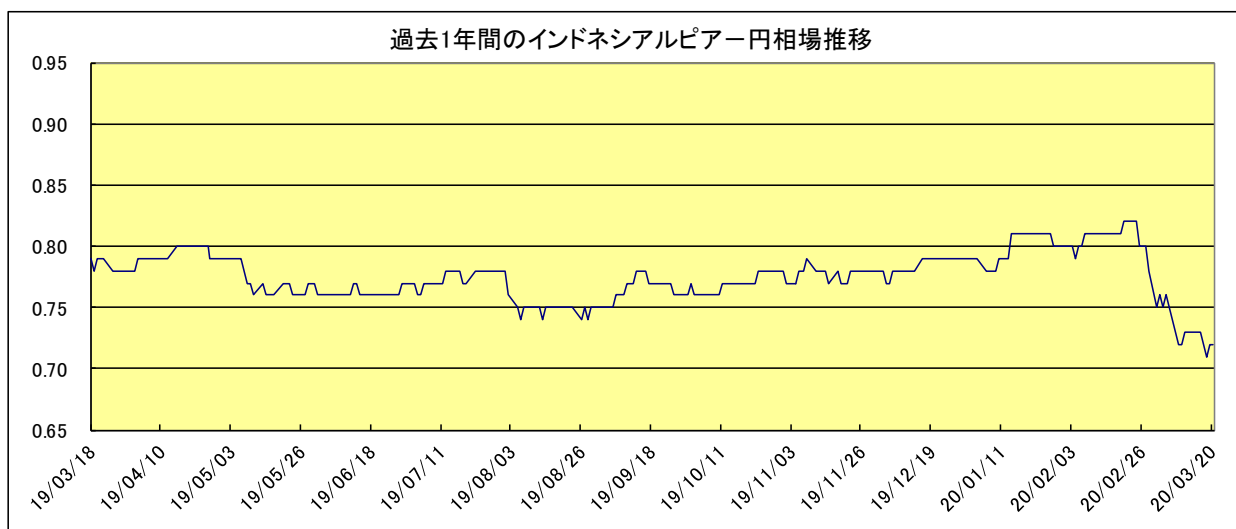
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
2月24日	-	2月25日	3.5100	2月26日	3.4700	2月27日	3.4700	2月28日	3.4700
3月2日	3.4100	3月3日	3.4500	3月4日	3.4300	3月5日	3.4300	3月6日	3.3700
3月9日	3.2500	3月10日	3.2900	3月11日	3.3400	3月12日	3.3200	3月13日	3.3100
3月16日	3.3600	3月17日	3.3200	3月18日	3.3400	3月19日	3.3400	3月20日	-



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

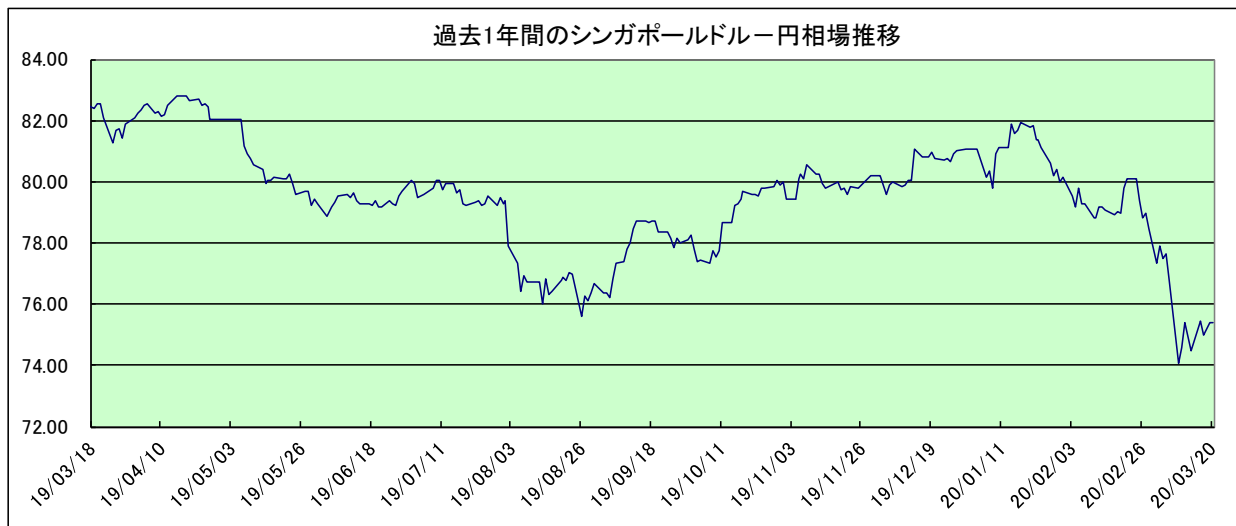
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
2月24日	-	2月25日	0.8000	2月26日	0.8000	2月27日	0.8000	2月28日	0.7800
3月2日	0.7500	3月3日	0.7600	3月4日	0.7500	3月5日	0.7600	3月6日	0.7500
3月9日	0.7200	3月10日	0.7200	3月11日	0.7300	3月12日	0.7300	3月13日	0.7300
3月16日	0.7300	3月17日	0.7200	3月18日	0.7100	3月19日	0.7200	3月20日	-



(5) シンガポールドル-円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
2月24日	-	2月25日	79.3600	2月26日	78.8300	2月27日	78.9700	2月28日	78.4700
3月2日	77.3400	3月3日	77.8900	3月4日	77.4700	3月5日	77.6600	3月6日	76.7900
3月9日	74.0800	3月10日	74.5700	3月11日	75.4000	3月12日	74.9600	3月13日	74.4800
3月16日	75.4600	3月17日	75.0000	3月18日	75.2000	3月19日	75.4100	3月20日	-



(6) ベトナムドン-円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
2月24日	-	2月25日	4.7700	2月26日	4.7400	2月27日	4.7400	2月28日	4.7000
3月2日	4.6300	3月3日	4.6600	3月4日	4.6200	3月5日	4.6300	3月6日	4.5700
3月9日	4.4300	3月10日	4.4500	3月11日	4.5100	3月12日	4.5100	3月13日	4.5300
3月16日	4.6000	3月17日	4.5800	3月18日	4.6100	3月19日	4.6700	3月20日	-

